

**過去 10 年間の職場での熱中症による労働災害の発生状況
(平成 17 年～平成 26 年分)**

1 熱中症による死傷者数の推移

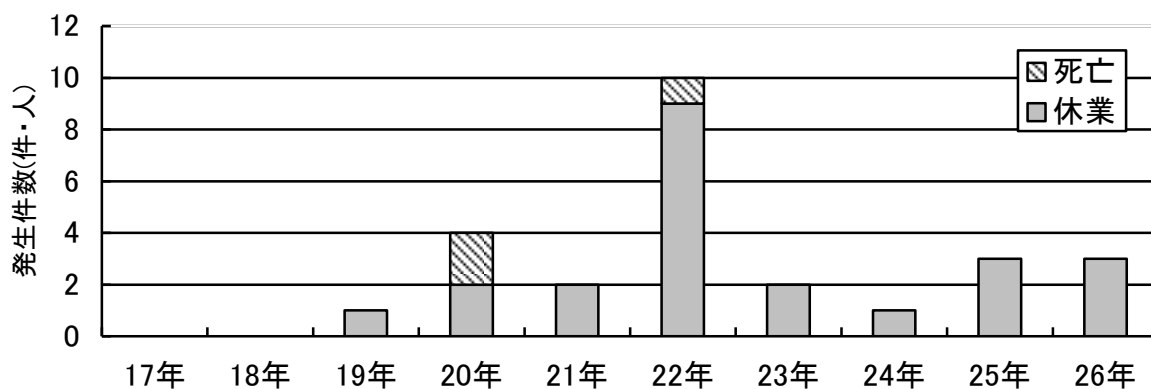
過去 10 年間の職場での熱中症による休業 4 日以上の子傷者数は、合計 26 人となっており、最高は平成 22 年の 10 人であった。平成 19 年以降は毎年発生している。

熱中症による死亡災害は、年平成 23 年以降は発生していない。

熱中症による休業 4 日以上の労働災害の年別発生状況 (人)

年(平成)	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	合計
死亡				2		1					3
休業			1	2	2	9	2	1	3	3	23
合計	0	0	1	4	2	10	2	1	3	3	26
屋内				1			2	1		1	5

年別発生状況



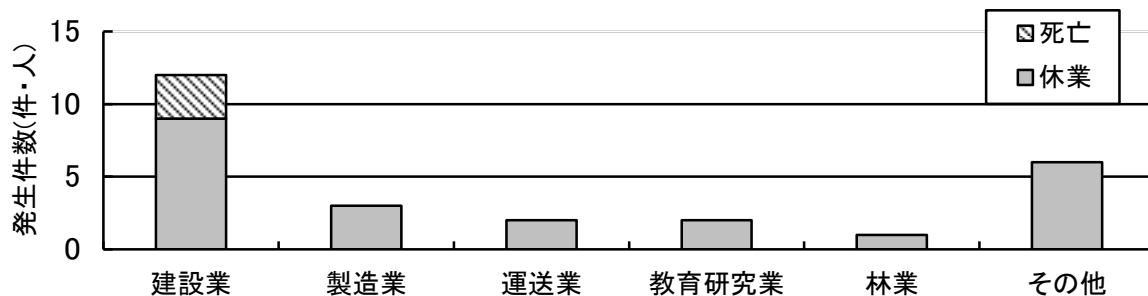
2 業種別発生状況

業種別の発生状況をみると、建設業が全体の約半数を占めている。

業種別発生状況 (人)

業種	建設業	製造業	運送業	教育研究業	林業	その他	合計
死亡	3						3
休業	9	3	2	2	1	6	23
合計	12	3	2	2	1	6	26

業種別発生状況



3 月・時間帯別発生状況

(1) 月別発生状況

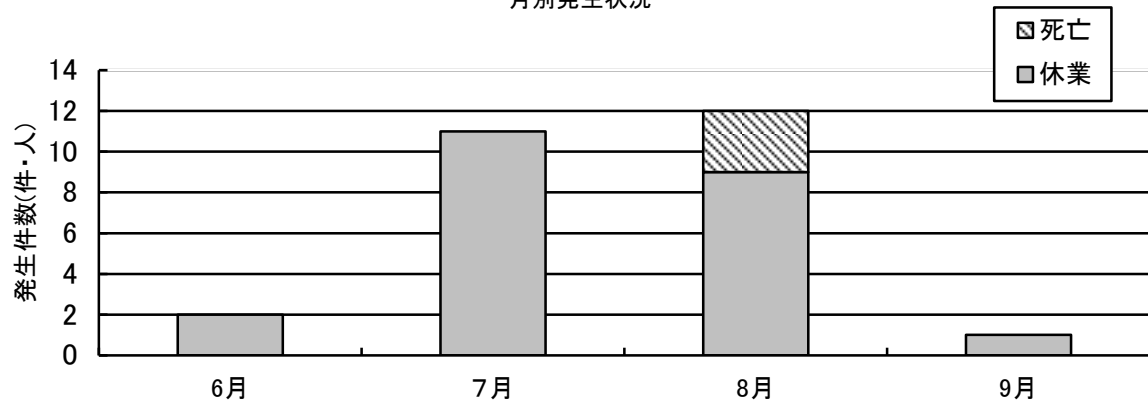
月別発生状況をみると、7月及び8月に約9割が発生している。

なお、発生年月日は、最も早い日で6月12日であり、最も遅い日で9月6日である。

月別発生状況 (人)

月	6月	7月	8月	9月	合計
死亡			3		3
休業	2	11	9	1	23
合計	2	11	12	1	26

月別発生状況



(参考) 熱中症による月別・業種別発生状況 (人)

月	6月	7月	8月	9月	合計
建設業		6	6		12
製造業		1	2		3
運送業			2		2
教育研究業		1		1	2
林業			1		1
その他	2	3	1		6
計	2	11	12	1	26

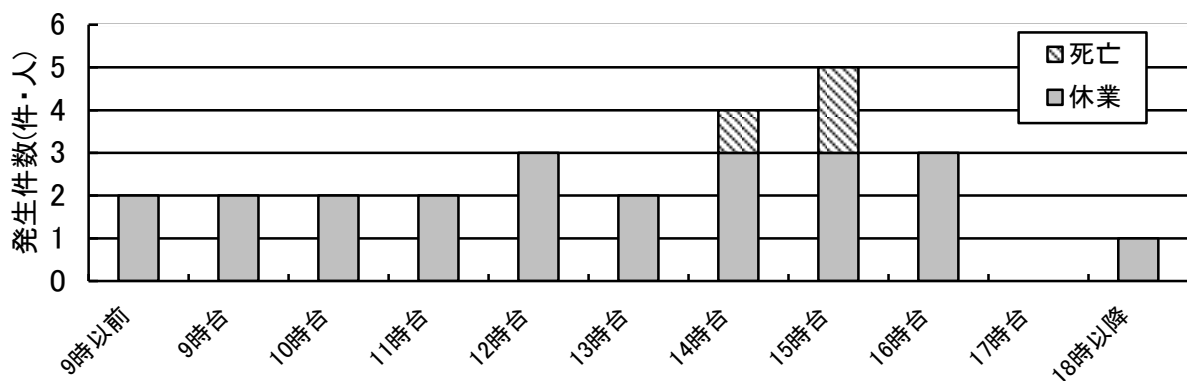
(2) 時間帯別発生状況

時間帯別発生状況をみると、午前 11 時台から午後 4 時台の間に約 7 割が発生し、特に午後 2 時台から午後 3 時台に多発し、全体の約 3 割が発生している。

時間帯別発生状況 (人)

時間帯	午前 9 時台以前	午前 10 時台	午前 11 時台	午後 0 時台	午後 1 時台	午後 2 時台	午後 3 時台	午後 4 時台	午後 5 時台	午後 6 時以降	合計
死亡						1	2				3
休業	4	2	2	3	2	3	3	3		1	23
合計	4	2	2	3	2	4	5	3	0	1	26

時間帯別発生状況



4 熱中症が発生した屋外作業の気象条件

熱中症による死傷者数 26 人の作業環境は、屋外が 21 人、屋内が 5 人である。

熱中症が発生した屋外作業の気象条件は、その日の最高気温（災害発生時刻より前に限る。）が最も低い日で 24.3℃（同時刻の湿度は 95%）、最も高い日で 35.4℃（同時刻の湿度は 51%）であった。

なお、屋外作業における、熱中症が発生した日の最高気温（災害発生時刻より前に限る。）は、27℃以上での発生が 8 割以上を占めている。

5 熱中症による休業4日以上の労働災害の発生状況の詳細

番号	月	年	業種	発生 時間帯	屋外の 気温※	区分	事案の概要
1	6	23	その他	午前 10時台	-	休業	被災者は、店舗の倉庫（屋内）において在庫を整理中、体調不良となった。
2	6	22	その他	午後 3時台	29.5度	休業	被災者は、配達作業中、体調不良となった。
3	7	26	製造業	午前 9時台	-	休業	原料処理作業場（屋内）において、高さ1m程度の台上で、原料小分け作業を約1時間実施後、体調不良となった。
4	7	26	建設業	午前 9時台	25.0度	休業	前日に午前7時頃から1日中屋外で草刈り作業を実施し、多量の発汗があった。その翌日出勤するものの、直後に体調不良となった。
5	7	26	警備業	午前 11時台	34.5度	休業	交通誘導の業務を実施していたが、体調不良となった。
6	7	22	建設業	午後 3時台	32.6度	休業	被災者は、家屋の解体工事現場において、窓枠の解体作業中、体調不良となった。
7	7	22	建設業	午後 1時台	33.4度	休業	被災者は、土木工事現場において、道路掘削等の作業中、体調不良となった。
8	7	22	建設業	午後 4時台	29.0度	休業	被災者は、住宅新築工事現場において、スコップを用いて外溝の掘削作業中、体調不良となった。
9	7	21	教育研究業	午後 4時台	27.8度	休業	被災者は、遺跡の発掘調査現場において、草刈り作業中、体調不良となった。
10	7	21	建設業	午前 10時台	24.3度	休業	被災者は、事業場内の機材倉庫において、機材整理作業中、体調不良となった。
11	7	20	その他	午後 4時台	34.3度	休業	被災者は、現場で廃棄物の搬出作業中、体調不良となった。
12	7	19	その他	午後 0時台	27.1度	休業	被災者は、畑において、片付け等の作業中、体調不良となった。
13	7	25	建設業	午後 0時台	33.6度	休業	被災者は、工事のための現場調査作業中、体調不良となった。
14	8	24	製造業	午後 0時台	-	休業	派遣労働者である被災者は、夏季休暇明けに、工場（屋内）の炉の輻射熱に加え、気候による温度上昇のため、体調不良となった。
15	8	23	建設業	午前 11時台	-	休業	被災者は、ビル新築工事現場（屋内）において、設備工事中、体調不良となった。

16	8	22	林業	午後 2時台	35.4度	休業	被災者は、草刈り作業中、体調不良となった。
17	8	22	運送業	午後 3時台	33.1度	休業	被災者は、屋外において、トラックの荷台に反物手積中、体調不良となった。
18	8	22	運送業	午後 6時以降	28.0度	休業	被災者は、引越し作業終了後、体調不良となった。
19	8	22	建設業	午後 3時台	31.6度	死亡	被災者は、パイプライン修繕工事において、廃材運搬作業に従事していたが、倒れているところを発見され、その後死亡した。
20	8	22	建設業	午前 9時以前	31.8度	休業	被災者は、木造住宅新築現場において、建方2日目の外壁取付作業中、体調不良となった。
21	8	20	建設業	午後 3時台	34.1度	死亡	被災者は、造成工事現場において、土木作業中、倒れているところを発見され、その後死亡した。
22	8	20	製造業	午後 2時台	-	休業	被災者は、炉が設置されている工場内（屋内）で、荷物の積降作業中、体調不良となった。
23	8	20	建設業	午後 2時台	33.0度	死亡	被災者は、解体工事現場において、廃材の仕分作業中、体調不良を起こし、その後死亡した。
24	8	25	建設業	午後 2時台	32.9度	休業	被災者は、道路舗装工事で転圧作業中、体調不良となった。
25	8	25	農業	午前 9時以前	24.7度	休業	被災者は、水田での除草剤散布作業中、体調不良となった。
26	9	22	教育研究業	午後 1時台	34.6度	休業	被災者は、遺跡の発掘調査現場においてスコップを用いて掘削作業中、体調不良となった。

※ 熱中症が発生した日の発生地域の最高気温（災害発生時刻より前に限る。）